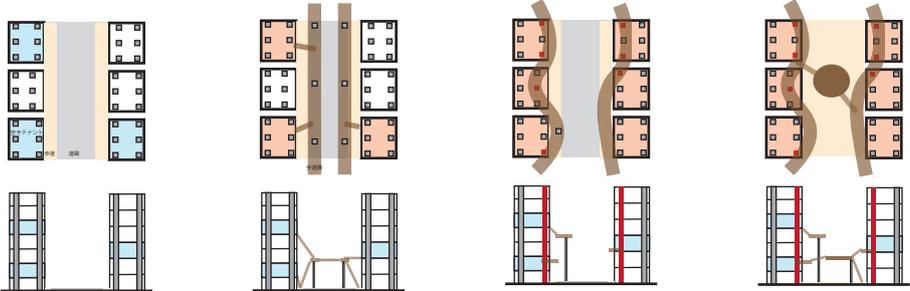


# 劇場型商店街 ～まちを豊かにする歩道橋～

平本彩乃 竹宮研究室



敷地：神奈川県相模原市南区相模大野 コリドー商店街  
 用途：歩道橋・ステージ  
 模型：本模型 1/200 敷地模型 1/1500



**既存**  
 駅前の商店街は空きテナントが多く見受けられ、短期間での入れ替わりも多い。学校が多いまちで、老若男女の利用が見られる。

**ステップ1**  
 駅から商店街の反対端まで歩道橋をかけ、空きテナントへの動線を確保し、利用を促す。  
 →GLの利用、日光が届かなくなる。

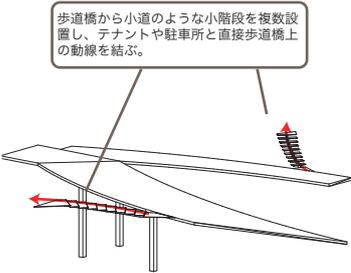
**ステップ2**  
 歩道橋の一部を既存のビルに介入させ、構造体も既存のものを一部利用することで、通りの開放感を保つ。  
 →人を呼び込むための工夫

**ステップ3**  
 通行人の注意を引くため、ステージを複数配置し、また歩行者天国にすることで、利用者の増加と積極的な地域イベントの参加を促す。

神奈川県相模原市相模大野駅周辺の「コリドー商店街」を対象に、地域交流を図る空間を設計する。

コリドー通りは長くにわたって地域住民に利用されてきたが、現在はテナントの入れ替わりが多く、利用客も乏しい寂しい印象である。相模大野は学校が多くあり、商店街は駅と学校群の間に位置することから学生の通学路として利用されている。商店街を活性化する工夫としてこの特徴に目を向けて、若者ウィビきつけ商店街の利用を促すような工夫をできないかと考えた。本設計では、自由に自分を表現したり、それらを受け取って楽しめるような日常体験を提案する。

## 傘＋ステージ＋道



歩道橋から小道のような小階段を複数設置し、テナントや駐車所と直接歩道橋上の動線を結ぶ。

設計アイソメ図

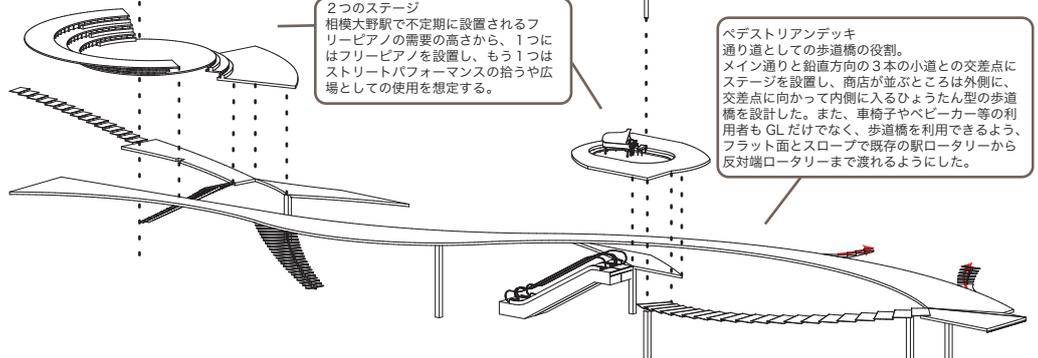


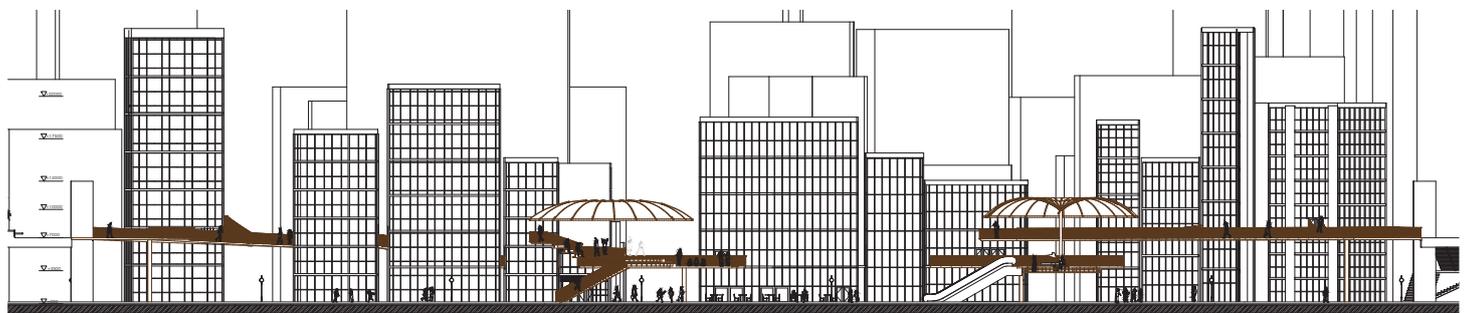
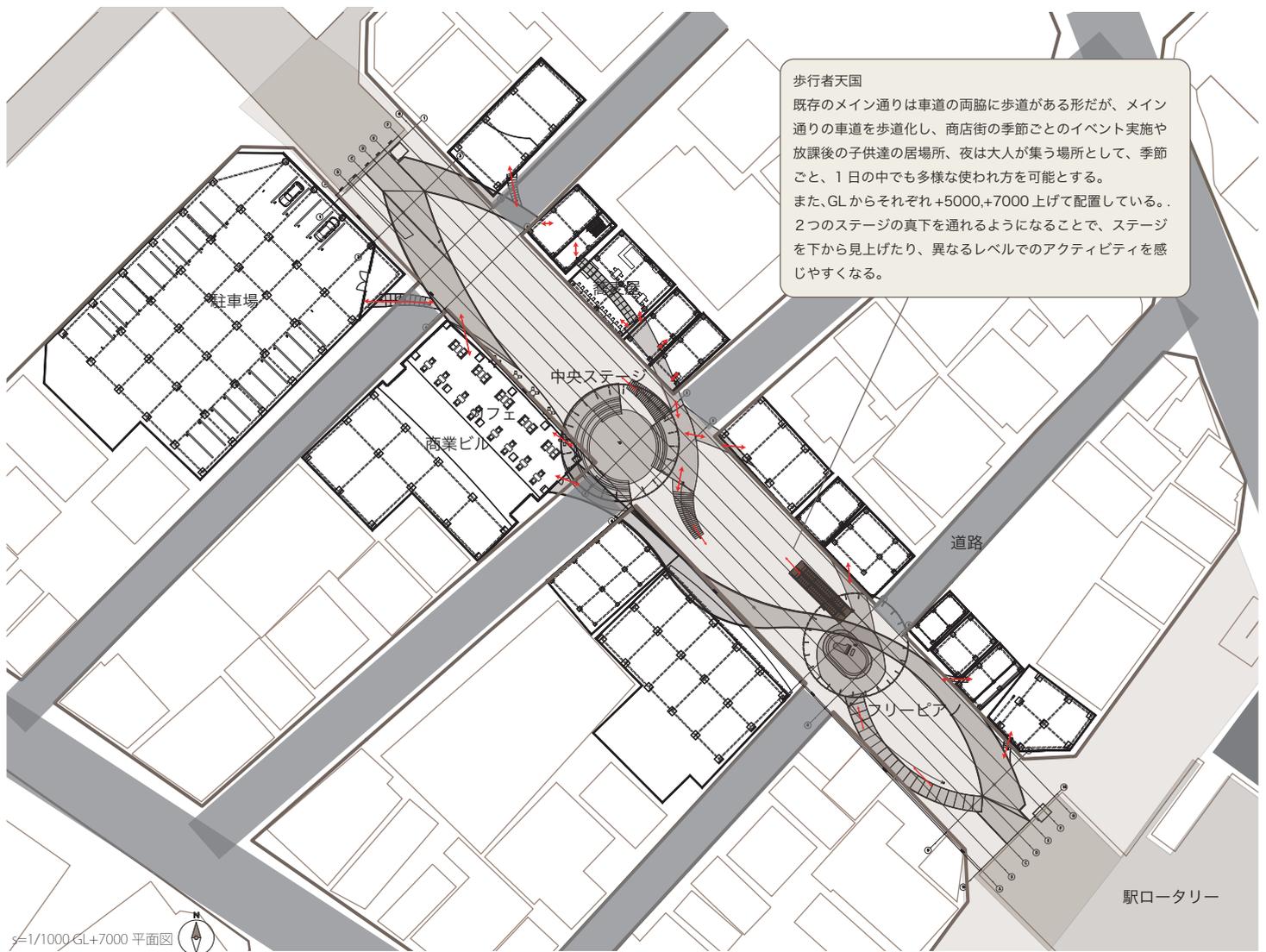
**傘型屋根**  
 2つのメインステージの上に傘のような形状の屋根をかける。歩道橋全体にかけずステージの上のみに円形にすることで、重たい印象を避けるとともに、ステージへの集客効果の上昇を図った。



**2つのステージ**  
 相模大野駅で不定期に設置されるフリーピアノの需要の高さから、1つにはフリーピアノを設置し、もう1つはストリートパフォーマンスの拾うや広場としての使用を想定する。

**ペDESTリアンデッキ**  
 通り道としての歩道橋の役割。メイン通りと鉛直方向の3本の小道との交差点にステージを設置し、商店が並ぶところは外側に、交差点に向かって内側に入るひょうたん型の歩道橋を設計した。また、車椅子やベビーカー等の利用もGLだけでなく、歩道橋を利用できるよう、フラット面とスロープで既存の駅ロータリーから反対端ロータリーまで渡れるようにした。





使われ方の例

<1日>

- 朝→学生の通学路、ランニングコース
- 昼→地域住民の広場、パフォーマンススペース
- 夕方→放課後の子供達の遊び場
- 夜→帰路、飲食店のテラス席



- <季節ごと>季節のイベントは実際に開催されているもの
- アートクラフト市→バザー開催、作品体験ブースの設置
  - 新春餅つき大会→鏡開き、樽酒ふるまい、飲食スペースの設置
  - 大野銀座文化祭→作品の展示、学生による演奏
  - ハロウィン→子供達が商店街を回る
  - クリスマス→ゴスペルショーをパフォーマンススペースで開催

